

「作成したポスターを使って発表しよう！」

導入

ポスターが作成できたら、あとは発表に向けて準備を進めていこう。ポスターを使って発表し、質疑応答を行う「ポスター発表」には、いくつかマナーや決まりごとが存在する。まずはそれをしっかり確認してみよう。

0. ポスター発表の準備

ポスター発表では、ポスターを壁やホワイトボードに掲示して発表を行います。今回は、移動式のホワイトボードにポスターを張り付けて発表を行ってもらいます。



1. ポスター発表の始め方

(1) 時間指定がある場合

- 発表開始前にポスターの前に立ち、聴衆に発表することを伝える。

「では、今から発表を始めます」 「(学校名など)の六甲太郎です」
「発表タイトルは『〇〇〇〇〇』です。よろしくお願いします。」



(2) 時間指定なしの場合（ポスターが掲示された会場を、人が歩き回ります）

- ポスターの前に立ち、聴衆に発表できることをアピールする。
- ポスターの前に立ち止まった人がいたら、一言声をかける「ご説明しましょうか？」

「では、今から発表を始めます」 → あとの流れは(1)と同じ

※ 立ち止まってももらえないと発表の機会もない！ → 魅力的なタイトルやデザインが重要！

※ 今回は(1)の形でポスター発表を行います。発表時間は2～5分、質疑応答は3分です。

★ポスター発表のコツ★

- 発表原稿を見ながらの発表、ポスターの文章をそのまま読むことは厳禁！
- 基本的に聞き手は少人数なので、相手が分かっているか確認しながら発表を進める。
- 1回時間を守って、時間内に全体を話せるようにする（長すぎても、短すぎても×）。
- 声の大きさは聞き手が全員聞き取れる大きさを意識する。
- ①～④が十分にできるように、練習しておく。

2. 質疑応答の進め方

- 発表終了後は「ご清聴ありがとうございました。何かご質問がありましたらお願いします。」
【答え方】 ① 質問を受けたら「ご質問ありがとうございます。」と毎回返してから答える。
② 聞かれたことだけを答える。関係ないことを答えて長くならないように！
- 質問に回答した後は「他にご質問がありましたら、お願いします。」
- 質問が出尽くしたら「では、これで発表を終わります。ありがとうございました。」

★質疑応答のコツ★

(1) 質問形式に合わせて答える(質問形式は大きく分けて2種類)。

- ① 選択肢が与えられている形式もの（クローズドクエスチョン）

例)「これは〇〇ということですか」「これで良いと考えていますか」→ Yes / No

「A、B、Cのうちどれですか」→ A or B or C

応答の基本 相手が提示した選択肢から1つを選んで答える 例)「Yes です」

※ 両方選んだり、相手が提示した選択肢以外で答えたりしてもいい。

- ② 自分で答えを埋める形式のもの（オープンクエスチョン）

例)「～なのは、なぜですか」「何を使いましたか」「どのようにお考えですか」

応答の基本 聞かれたことを埋めた形で答える

例)「～なのは、〇〇だからです」「〇〇を使いました」「〇〇と考えます」

(2) 簡潔に一言で答える。

応答の基本 まず簡潔に一言で結論を答え、その後に補足をする。

例)「Aです。結論 なぜなら〇〇だからです。」

「～なのは、〇〇だからです。結論 ××なので、このような手法を用いました。」

(3) 考えていなかった答えは、考えながら答えない。

応答の基本 原則、考えていなかったことを素直に認める

例)「考えていませんでした。」「～については調べていません。」

(4) 質問の意図が分からなかったときは、理解を加えた上で聞き返す。

応答の基本 必ず、聞き返す（勘違いして答える方が恥ずかしい！）

例)「その質問は～ということですか」「質問がよく分かりませんでした」



今回は本時の Q&A はありません！

発表時間：2～5 分、質疑応答 3 分で発表を行う。発表が早く終了した場合、質疑応答に移る。

[illegible]